

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」とは、議会上程された議案について質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするために、議案の提出者に対し、説明や考えを求めめるものです。

今期定例会においては、次の議員によって議案に対する質疑が行われました。

小野幸夫議員

議案第四十三号 平成十九年度羽生市一般会計補正予算(第一号)

・質疑 今回の補正予算に関して当初予算の段階では、羽生北学童保育室をはじめとする学童保育室で、どの程度の入室希望者がいると予測していたのか、また、放課後児童健全育成事業の今後の考え方について伺う。

・答弁 (教育次長)

平成十九年度の学童保育室の入室希望は、市の広報により今年の一月から三月まで募集を行った。そうしたところ羽生北学童保育室に関してのみ、定員の五十名を上回る七十七名の申込みがあったため、急きよ希望者全員を適正に受

け入れるために今回の予算補正を行うものである。

羽生北学童保育室への希望者の予測は、過去四年間、ほぼ定員通りの児童数で推移していたため、前年並みの定数を考えていた。もともと入室希望者を予測することは難しいが、今年度は特に一年生の入室希望が三十四名を超え予想を大きく上回った。今後は保護者の入室希望の的確な把握に努め対応していきたい。

なお、羽生北学童保育室以外の入室希望者は、定員を超えなかったため、前年通りの体制で実施することとした。

次に、放課後児童健全育成事業の今後の考え方については、平成十八年度に川俣小学校区内に春山なかよし学童クラブを設置し、今年度四学童クラブが定員増を図ったため、

三百三十六名となり羽生市次世代育成支援行動計画に対する達成率は八十八・四%になったため、これからは放課後子どもプランとのかかわりの中で、すべての児童を対象とした居場所づくりを地域の実情に合わせた形で検討してまいりたい。

中島直樹議員

議案第四十三号 平成十九年度羽生市一般会計補正予算(第一号)

・質疑 商店街夢チャレンジ事業補助金の対象となっているキンカ堂通り商店会が取り組む事業内容について詳しい内容を伺いたい。

・答弁 (経済環境部長)

近年、郊外型の大規模小売店出店による購買力の市外への流出と後継者不足による経営者の高齢化等より、全国的に小売店は減少し、既存商店街は衰退傾向にあるといえる。

こうした中、事業費補助として県に採択されたキンカ堂通りサマーフェスタの実施内容は、従来からのサンパレード、フリーマーケット、

商工会、あるいは加盟店による模擬店の出店、カラオケ大会、子ども向けヒーローショーなどキンカ堂敷地や歩行者天国で行う催しに加え、さらなる内容の充実拡大を図っている。

それは、平成十七年度に商店街が整備をした、高齢者向けコミュニケーション施設「らくらく」を活用し、「丸の市」も取り込んだ形で野菜や洋服の販売、伝統芸能、お囃子、市のイメージキャラクター「ムジナ」の着ぐるみを登場させるなど、特にシルバー世代向けのイベントを加え、地元密着型の高齢者にやさしい商店街の存在をアピールする事業展開を図っている。

実際の事業費の用途については、照明あるいは音響設備等の工事費、サンパレード、ヒーローショー出演者等への謝礼各種備品等の使用賃借料、そしてチラシなど広告宣伝料に充てることとなっている。

今後は、隣接する各商店街が連携を図り、さらに大きな地域商店街の取り組みとして広がっていくことを期待し、その支援を行う予定である。

審議案件と

その結果

(六月定例会市議会)

議員提出議案

六月二十一日 原案可決

議第一号議案 義務教育費国庫負担制度の堅持を求めめる意見書

市長提出議案

六月五日 原案可決

議案第四十四号 彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

六月二十一日 原案可決

議案第四十三号 平成十九年度羽生市一般会計補正予算(第一号)

陳情

陳情第二号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求めめる陳情 (採択)